

第 26 期日本学術会議政治学委員会第 5 回・議事要旨

日時：令和 8（2026）年 8 月 6 日（木）16 時 17 分～17 時 20 分

会場：日本学術会議 5 階 5－D 会議室

出席者：鈴木基史（委員長）、谷口尚子（副委員長）、城山英明（幹事）、早川誠（幹事）

配布資料：なし

※総会が早く終了したため、予定時間より早く開催した。

議 題

（1）今後の予定

以下の予定を確認した。

○公開シンポジウム「民主主義と選挙を守る－近年の我が国の政治と選挙環境に関する諸課題」

主 催：現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

日 時：令和 8 年 8 月 8 日 オンライン開催

○公開シンポジウム「有権者は変わりつつあるのか－制度の影響と投票行動の把握－」

主 催：現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

日 時：令和 8 年 8 月 11 日 オンライン開催・英語

○公開シンポジウム「自治体の人手不足－その現状と対応方策－」

主 催：人口減少下の行政・地方自治分科会

日 時：令和 8 年 9 月 13 日 オンライン開催

○記録の公表

「民主主義の後退に関する検討の記録」

発出主体：民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会

令和 8 年 3 月 11 日第一部承認

○英語書籍の公刊（予定）

Motoshi Suzuki and Atsushi Ishida, eds. Humanitarian Crises and Unravelling

International Orders. Forthcoming, Springer. (紛争下の人道危機に関する国際政治分科会共催による公開シンポジウムの成果)

○サイエンスカフェ (予定)

「データサイエンスは平和の実現にどのように貢献できるか？」

主 催： 政治学委員会

日 時： 令和8月9月19日

場 所： 大阪公立大学

○サイエンスカフェ (予定)

「AIでたどる満洲引揚者の記憶—労苦体験手記『平和の礎』を読み解く」

主 催： 政治学委員会

日 時： 令和8月9月23日

場 所： 平和祈念展示資料館 オンライン併用

○主権者教育授業 (予定)

主 催： 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

日 時： 令和8月9月7日

場 所： 明治大学付属明治高等学校

(2) 総会審議内容への政治学委員会としての対応

次期会員選出の状況について確認した。また、翌日の総会審議内容について確認するとともに、次期の活動スケジュールについて意見を交換した。

(3) 次期の政治学委員会(仮)への申送事項

学協会との今後の協力関係について検討が必要とされる。たとえば研究者養成を含む政治学教育の今後の構想や、AIへの対応方法などについて、テーマの共有が考えられる。また、学術会議にかかわる各種学協会からも広く情報を得ながら、政治学関係の学協会と課題を共有することが今後のテーマとなりうる。

(4) その他

特になし。